

みのり句会 兼題『夏の川』

〔選と評〕 ホトトギス同人 福島 テツ子
 年長さん夏の河へと移動する 白木 弘子

(評) 長い列のまま河へと歩んでいる元気な年長さん、
 子供の頃を懐かしく思い出しています。純粋な俳句です。

- ◇夏の川泳いでいるのは河童かな
(あいうえお順) 秋草 君枝
- ◇清流も濁流もあり夏の川
 石川 れい子
- ◇鈴虫の生れ六月数知れぬ
 江刺 厚子
- ◇時はゆき何ごともなく夏の川
 小野瀬 俊江
- ◇夏の川流れの岸に波うちて
 菅野 信子
- ◇茶畑を従へ夏の大井川
 田中 弘子
- ◇穏やかに流れ静かな夏の川
 辻 春夫
- ◇紫陽花や舞う羽のこと朝戸風
 富田 果蓮 (高三)
- ◇大花火川面に花を咲かせたり
 瓦崎 八重子
- ◇海知らぬ子等はしやぎをり夏の川
 中村 くみ子
- ◇澄みきった夜空横たふ夏の川
 野口 貴美子
- ◇汗拭いて土手から眺める夏の川
 榎 卓
- ◇真っ白な雲を映して夏の川
 福島 テツ子

九月の兼題は、「芒(すすき)」です。

一人三句ですが、兼題二句、他の季語で一句作ってください。

投句の方は、全句を書いた紙一枚、短冊に一句ずつ、八十四円切手

三枚(参加費)、返信用封筒(切手と記名)を同封して月末迄に

「事務局」に届くようにお送りください。

「句会たまりば」は、第二火曜日、十時半からです。



「支え合う会 みのり」の歩み

- 一九八三年 「稲城の老後を支える会」として発足
- 一九八四年 会食会サービスをスタート
- 一九八九年 「稲城の老後を支え合う会」と改称
毎日型の配食(夕食)サービスを開始
- 二〇〇〇年四月 特定非営利活動法人
支え合う会 みのりと改称
- 二〇〇二年 稲城市委託事業
高齢者食生活改善事業を開始
- 二〇〇三年 稲城市委託事業
かがやき倶楽部みのりを開始
- 二〇一二年 居場所作り「カフェいしださんち」を開始
- 二〇一六年 他機関との地域社会づくり連携事業開始
- 二〇一九年 東長沼に活動拠点を移転

「現在の活動」

- ◎配食サービス
(東長沼の拠点で週5回 月々金)
- ◎会食会サービス・クッキングクラブ梨穂
(公共施設等 9会場で開催)
- ◎ミニデイサービス「たまりば」
- ◎稲城市委託事業(高齢者食生活改善事業)
- ◎訪問サービス
- ◎居場所作り「カフェいしださんち」
- ◎介護予防・日常生活支援総合事業A
かがやき倶楽部みのり
- ◎他機関との連携事業
- ◎広報活動(会報・ブログ) など

この法人は、高齢者の福祉を自分の問題として考え、支え合いの精神で、在宅福祉活動を行い、支える者と支えられる者が対等な立場を保ち、住み慣れた地域に安心して、生き生きと住み続けられる地域社会づくりに寄与することを目的とします。